

2020年12月15日
第463号

発行所
日本公認会計士政治連盟
〒102-8264
東京都千代田区九段南4-4-1
公認会計士会館
電話03-3515-1155

発行人 森 公高
編集人 新井達哉

■ 財政見える化、アカウンタビリティの
問題意識を高めよう

■ 活動報告

- 昨今の公認会計士業界を
取り巻く環境について意見交換
- 「若林けんた君を励ます会」を開催
- 「宮本周司 参議院議員(自民党)が来会」
- 「山田美樹 衆議院議員(自民党)が来会」
- 「衛藤征士郎衆議院議員(自民党)の会」を開催
- 「今枝宗一郎 衆議院議員(自民党)が来会」
- 「石原伸晃 衆議院議員(自民党)囲む会」を開催

財政見える化、アカウンタビリティの 問題意識を高めよう

「財政の見える化」を公約の一番に掲げている竹谷とし子議員。国の経営に問題意識を持つ国会議員を増やすべく奔走中です。公会計委員会の椎名担当常務理事と伊澤委員長がお伺いしました。

インタビュアー：椎名 弘(公会計・監査担当常務理事)、伊澤賢司(公会計委員会委員長)



椎名 弘
(公会計・監査担当常務理事)

竹谷とし子 参議院議員

伊澤賢司
(公会計委員会委員長)

ゲスト 参議院議員
(公認会計士)

竹谷とし子

1. 竹谷議員のこれまでの「財政の見える化」に関連する取組

椎名 竹谷先生はご当選1期目から一貫して、「財政の見える化」を公約に掲げ、精力的な活動をされています。取組を進めた結果、実現できたことを教えてください。

竹谷 2010年に初当選して以来、様々な

取組を進めてまいりました。ここでは大きく三つ、①特別会計の利払費年間700億円の削減、②個別事業のフルコスト情報の開示の実現、③年金積立金の資金運用改善についてお話します。

まず、特別会計の利払費年間700億円の削減です。2012年度以前は、国債整理基金特別会計において、大災害等で国

債が発行できないときに備える準備金として10兆円の残高がありました。このため、特別会計からの利払費が年間で約1,000億円以上発生していました。この準備金を減らすことで債務も償還でき、結果的に利払費を減らせることを国会の予算委員会

等で繰り返し指摘してきたのですが、その成果として、2013年度には準備金を7兆円減らすことが決定され、利払費も年間700億円減らすことができました。

伊澤 まさに、既存の資料を複式簿記による資産と負債の概念に絡めて調査したか

らこそ実現できた内容ですね。

竹谷 次に個別事業のフルコスト情報の開示です。これは、国が直接行っている事業のコストを見える化するため、当該事業の直接事業費だけでなく、人件費や物件費、減価償却費なども含めたフルコスト(トータルコスト)を開示することです。私は2014年9月から財務大臣政務官を拝命しておりましたが、その時に、国が直接行っている事業についてのフルコスト情報の開示に取り組み、2014年度決算から実現しました。2014年度決算で開示できたのは24事業でしたが、現場の作業負担を考慮しながらも財務省公会計室の皆様の地道な取組により、徐々に開示対象事業を増やしていくことができており、2019年度は76事業の開示ができております。

椎名 私も財政制度等審議会の財政制度分科会法制・公会計部会の臨時委員を拝命しており、その場でも個別事業のフルコスト情報の開示について議論されます。とても良い取組です。

竹谷 さらに、年金積立金の資金運用改善です。独立行政法人福祉医療機構が加入者に対して実施していた住宅ローン融資について、福祉医療機構に返済された元本が福祉医療機構の手許に1年間留められることで、短期的な運用しかできず、機会損失が発生していました。これを年金積立金に早く納付することで、より多くの資金で利回りの高い長期運用ができるようになります。2015年4月の法改正で、福祉医療機構から年金積立金に定期的に納付することが認められ、効率的な運用ができ

るようになりました。仮に年4回、年金積立金への納付が行われた場合、年間10億円の効果が認められます。

2. 国の財務書類の課題 (公表の早期化)

椎名 本当に様々な取組を進めておられます。いずれも公認会計士としての視点がフルに活かされた素晴らしい取組であると思います。ところで、国の財務書類が公表されるのは会計年度が終了してから10か月後である翌年の1月、連結財務書類が公表されるのは1年後である翌年の3月と、かなり遅いタイミングで、予算編成や意思決定には使われていないのが実情です。

竹谷 国の予算・決算制度は、伝統的な現金主義・単式簿記での処理が続いております。現金主義・単式簿記の決算情報が国会に提出されるのも、会計検査院の検査も終了した後の11月という状況です。2003年度から単式簿記の決算情報を組み替えることで、国のバランスシート(財務書類)が作成されるようになりましたが、当初は会計年度終了から1年以上経過して、公表されている状況でした。それが、様々な取組の結果、ようやく今のように連結財務書類も含めて1年以内に公表される場所まで進みました。

椎名 国際公会計基準では6か月以内の公表が求められていますね。

竹谷 現状よりも更に公表時期を早め、実際に事業別の会計管理を今まで以上に深くやろうとすると、会計システムそのもの

を変える必要があります。さらに、業務のやり方も変えなくてはなりません。今までと異なる業務のやり方の導入は、現場からの反発も予想され、すぐには実現できません。それに、このような問題意識を持った国会議員もまだまだ少ない状況です。私も発足メンバーの一人で、2014年4月に発足した超党派の議員連盟である「公会計推進議員連盟」は、国及び地方公共団体において新しい公会計制度を導入し、国民に対して税金が無駄なく効率的に使用されていることを説明する仕組みを構築すること等を目的として活動しています。まずはこの議連と公明党の公会計委員会での活動をベースとして、国会議員の皆様に、財政の見える化やアカウンタビリティが重要であるという問題意識を持っていただきたいと考えております。

椎名 私も2020年8月に公会計推進議員連盟の総会において、国の公会計に関する課題等を発表させていただきました。あのような場を通して、国会議員の皆様の問題意識が高まると良いです。

3. 地方公会計に対する取組

伊澤 地方公会計についても取組を進めてくださっています。

竹谷 総務省から地方公会計の統一的な基準が公表されたのは2014年ですが、それ以前から東京都をはじめとする一部の地方公共団体で公会計の取組が進んでおりました。背景には公認会計士出身の東村邦浩都議会議員をはじめ公明党の地方議員の活躍があります。全国の公明党の地

方議員が、公会計改革の必要性を訴え続けてきてくださいました。公明党内の公会計委員会において、全国の地方議員の皆様と勉強会も開催しています。地方公会計は全国の地方公共団体が足並みを揃えて導入していかなければ、開示された情報の比較等の観点から活用が難しいです。私は国会議員として総務省に対して、地方公会計の制度策定において、財政力の弱い地方公共団体に対する財政措置等を配慮していただくよう申入れを行いました。公明党の全国のネットワークを活かして、今後も活動してまいります。

伊澤 とても心強いです。日本公認会計士協会の公会計委員会も負けずに頑張ります。本日はありがとうございました。



東京の創価高校、創価大学に進学し、公認会計士試験に現役合格。監査法人を経て、経営コンサルティング会社の執行役員として企業の経営改善の事に従事。2010年の参院選(東京選挙区)で初当選。財務大臣政務官のほか参議院災害対策特別委員長、参議院総務/法務委員長などを歴任。2016年7月の参院選(東京選挙区)で再選。

昨今の公認会計士業界を取り巻く環境について意見交換

コロナ禍における決算・監査の総括を含め、現在、日本公認会計士協会と公認会計士業界が直面している重要課題について、意見交換をしました。

2020年9月24日



武村展英 衆議院議員(自民党)



片山さつき 参議院議員(自民党)



鷲尾英一郎 衆議院議員(自民党)

「若林けんた君を励ます会」を開催

2020年9月29日



若林健太 前参議院議員

「宮本周司 参議院議員(自民党)が来会」

2020年9月30日



宮本周司 参議院議員

「山田美樹 衆議院議員(自民党)が来会」

2020年10月22日



山田美樹 衆議院議員

「今枝宗一郎 衆議院議員(自民党)が来会」

2020年10月28日



今枝宗一郎 衆議院議員



衛藤征士郎 衆議院議員

「衛藤征士郎衆議院議員(自民党)の会」を開催

2020年10月27日

「石原伸晃 衆議院議員(自民党)囲む会」を開催

2020年11月04日



石原伸晃 衆議院議員